

# 事業所における自己評価結果(公表)【児童発達支援】

公表:令和5

年2 月28 日

事業所名: こどもの家すくすくえんせんたー風のことり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		登園人数に合わせて部屋の割り振りができていますが、誕生会を開く際に、利用人数をしっかりと考慮し、部屋を広く開放するなどしている。ロッカーなどの置き方や、テーブル椅子の配置などにも配慮している。	利用定員に合わせた部屋の使い方をしています。その日に使う道具の置き方、置き場所など、乱雑になることがないよう、整理整頓を引き続き心がけていきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		子どもの様子に応じて、配置数より多く職員を配置できています。	随時、適切な配置で療育を行っています。今後も、子どもたちの様子をみながら丁寧に療育が行えるように配置数を考えていきたいと思っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		その日の生活の流れを視覚的に分かるように、掲示しています。また、室内はシンプルになるよう意識しているが、ロッカーの上の使った保育材料などは、片付けができるように意識していきたい。	活動に関係のないものは片付けて、子どもたちが分かりやすく、見通しをもって行動できるように環境調整に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の掃除と定期的な掃除のチェックにより、子どもたちが安心して過ごせる空間になっていると思う。また、午前と午後の活動の間に掃除を行い、活動内容に応じて、ロッカーを移動させたりしている。	おもちゃの消毒や手が触れる場所の消毒等を今後も丁寧にやっていこうと思います。保育材料等の物の置きっぱなし等は、今後も更に徹底していき、子どもたちの目に触れる事がない場所への片付けなどをきちんとしていきたいです。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		事前の打ち合わせにより、その日の活動の流れやねらいを職員間で共有できるようにしている。活動後は振り返りを行い、お互いに気が付いたことを伝えながら、改善案を出し、よりよい方法を考える。	今後も複数で目標設定を行い、振り返りを複数で行いながら、次の活動へきちんとつなげていく流れを作っていきたいと思っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者向けの評価表を後日職員間で共有し、内容に応じて改善策を提案している。	保護者向けの評価表を全員で共有し、改善できるところは、すぐに対応しています。今後も保護者からの評価表の結果をもとに、業務改善が必要なところについては、対応を検討しながら、よりよい施設、支援につなげられるよう努力してまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		職員全体で結果を共有し、改善すべき点については対策を考え、再度ホームページ上で公開している。	保護者の方の実際の声を聞き、自分たちの意識を高めながら、よりよい、支援を提供できるように改善していきたいと思っています。また、些細なことでも声を届けて頂けるように、話しやすい雰囲気、関係づくりにも努めていきたいと思っています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		年間の計画により、毎月の研修テーマが決まっており、子どもの発達、実践、虐待や衛生面について等様々な分野において学ぶ機会を設けている。また、各自、リモートでの研修などに参加し、参加出来なかった職員への周知を行っている。	園内研修は、年度の初めに学んでいきたいことを職員間で話してから、決めています。コロナ禍の中、リモートでの研修も多くなり、参加出来るときには、参加した職員からの伝達などを通して、質の向上に努めているので、今後も続けていきたいと思っています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		対象児に関わる職員間で会議を行い、保護者からのアンケートと会議録をもとに新しい支援計画を作成している。担当職員だけの評価だけでなく、その子のグループに携わっていても、送迎等で関わる職員も含めて、職員全体で子どもの事を考えて支援できるようにしている。	必要に応じて、専門職による発達検査を行っています。児童発達支援計画を作成するにあたり、今後もアセスメントを行いながら、保護者とも面談やアンケート等を通してニーズや困りごとを把握しながら、子どもたちの姿に即した計画が立てられようように努力していきたいと思っています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートの活用や、希望に応じて発達検査を実施している。	今後もアセスメントシートを活用し、子どもの姿に即した支援計画を立案できるようにしていきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインを見ながら、一人ひとりの子どもに必要な支援を設定している。また、支援計画を保護者にお返す時にはガイドラインにも触れながら、ご説明させていただいている。	今後もガイドラインを丁寧に見返しながら、支援を行っていききたいと思います。また、支援をしていく上で、併行通園先や相談支援事業所等とも連携を行い、発達支援だけでなく、移行支援、地域支援も必要に応じて行っていききたいと思います。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		グループで療育を行っているが、常に支援については個人に対して行う事を意識している。個々の支援計画に沿った療育が行えるように、打ち合わせの時間を充実させ、療育内容を工夫している。日々の子どもの様子についても職員間で共有しながら、どの職員でも同じような支援が出来るよう、体制を整えている。	引き続き、支援計画に沿って支援ができるように、職員間での連携を深めていきたいと思っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		活動に入る職員同士はもちろん、同じ年齢や、前回の様子などから、連携して立案をおこなっている。	グループに入る職員同士連携を取りながら立案を検討し、プログラムをつくっていくようにしていきたいと思っています。また、専門職のアドバイス等も取り入れ、楽しみながら個人の課題に即した支援ができるようにしていきたいと思っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		月ごとのおたよりで、各週のプログラムが決まられており様々な経験が出来るように計画している。繰り返し行うような遊びでも変化を加えながら、集中力が持続できるように工夫している。	活動に傾かないように、週ごとに内容を決め、次の登園日へのつながりを楽しみ、意欲、あそびの発展も大切にしていきたいと思っています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもの課題に即して、個別、集団の両方の活動が経験できるように、支援計画を作成している。活動内では、個別での活動は自由遊びの時間を中心に、集団活動は主活動を中心にお友だちの中、社会性を身に付けられるようにしている。	今後も子どもの課題となるところを個別や集団を適宜組み合わせながら、計画を作成していきたいと思っています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		その日の事前打ち合わせを大事にしながら、役割分担や個別の支援に対しての注意事項を共有できるようにしている。	子どもたちの課題を職員間で共有しながら、引き続き事前打ち合わせを丁寧にやっていきたいと思っています。
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気が付いた点等を共有しているか	○		その日の活動に入った職員で必ず反省、振り返りを行っている。職員それぞれの気づきを共有し、次回の登園にもつなげられるようにしている。	その日の反省を毎日行いながら、情報共有の漏れがないように、日頃から連携を行っています。また、次の活動に活かせるように、活動内容と、個人の支援について気づいた点をしっかりと共有していきたいと思っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		ダブルチェックを行いながら、記録を行い、偏った見方にならないように気を付けている。	記録をとるだけでなく、その情報を職員同士がしっかりと共有し、日々の療育や支援計画の作成等に活かせるように発信や言葉かけも大切にしていきたいと思っています。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一度は必ず見直しを行っている。 また、受給者証の更新のタイミングや、発達検査のタイミング、登園形態の変更などの時にも見直しを行いながら、支援計画が本人の姿や目標とずれることがないようにしている。	今後も、子どもたちの姿や困り事に即した支援計画の立案と支援が行えるように、丁寧に見直しを行っていきます。
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者、もしくはその子担当者が会には参加している。	日程を調整しながら、必要な状況によっては、担当者も出席しながら、情報共有がしっかりととられるようにしていきたいと思っています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			母子保健、地域支援の会等には今後も積極的に参加していきたいと思っています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			対象児がいないため、未回答。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			対象児がいないため、未回答。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートを活用しながら、情報の共有をはかっている。	担当者会議を通して、情報の共有をはかっています。 必要に応じて、担当者会議の場所を幼稚園や保育園等で行い、併行通園先での様子も共有しながら、今後も連携、共有を行っていききたいと思います。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートの作成を行い、連絡会に参加し、必要な情報を共有するようになっている。	就学に向けては、就学先の小学校への引継ぎも移行支援シートや夢すこやかファイルを活用して、引き続きスムーズに移行できるように支援をしていきたいと思っています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		公開療育や地域の事業との連絡会などを通して、近隣の事業所と連携をはかっている。	外部研修や公開療育等を通して、自分たちの療育の質の向上に今後も努めていきたいと思っています。 また、研修内容を保護者とも共有しながら、支援につなげていけるように、努力していきます。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		風のこどりに在籍している子どもたちのなかの8割の方が保育所やこども園等に就園しているため、地域の子どもたちと接点をそれぞれもっていると思う。	風のこどりとしての交流の機会は設けていませんが、併行通園先で地域の同年代のお子さん方と交流されていると思います。 地域の様子や、併行通園先の様子を保護者の方にお聞きする中で、自分たちのできごとがあれば、関わっていききたいと思います。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		地域の子育て安心ねっと等の会議に参加できている。	今後も地域の支援者の会議については参加できながら、連携が取れる体制を維持、構築できるようにしていきたいと思っています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		自宅送迎の子どもには、直接保護者に対して様子を伝えている。送迎先が幼稚園や保育園で直接会えない場合でも日々の連絡帳で子どもの様子を返すように努めている。	保護者の送迎、親子登園の活動の際などにお話をさせていただきながら、子どもたちの発達の状況や課題について共通理解できるように努力していきます。 また、日頃から連携をとりながら、困った事などを、その都度相談できたり、話しやすい雰囲気づくりをしたりしながら、安心して相談ができるようにしていきます。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		月に1度、母親教室を行い、その月のテーマに沿って職員(心理士)が話をしたり、保護者同士で情報交換できる場を設けている。	法人の心理士と連携をとりながら、保護者の今の悩みや、子育ての不安等を解消出来るように、引き続きタイムリーな母親教室や勉強会を行っていききたいと思います。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		管理者が契約の時に話をしている。	契約時のご説明に不備がないよう、今後も丁寧に説明していきたいと思っています。 また、館内にも掲示してあることをお伝えし、安心していただけるようにしていきます。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		該当する項目に予めラインを引いてから保護者に返すことで、分かりやすくなっていると思う。	支援計画の更新の際に今後もご説明させていただきたいと思っています。ガイドラインについても日々確認しながら、それに基づいた支援計画が作成できるように、努力していきます。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談内容に応じて、その場で対応することもあれば、保護者が話しやすいように相談室を使って面談を行うこともある。自分で分からないことは、上長に相談するなどして、できるだけ良い助言ができるようにしている。	引き続き、担当、児発管、心理士が適宜面談ができるように、日々の連携や子どもや保護者の方の様子、発達等を共有していきたいと思っています。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		父母の会はないが、母親教室内で保護者同士で話をする機会を設けたり、12月には参加者を募って子どもたちへのクリスマスプレゼント作りをお願いしている。	保護者会はありませんが、保護者同士のつながりが持てるように、子どもと分離の状況でクリスマスの製作や、母親教室、勉強会等を計画していきます。 先輩保護者と話す機会等もつくり、子育ての不安や、就学への見通し、学校の様子等を知るなどの機会をにつけたらいいなと考えています。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者からの申入れやいつもと何か違う様子があれば、こちらから積極的に声を掛けて話を聞くようにしている。	今後も相談や申入れに迅速に対応できるようにしていきたいと思っています。また、対応したことなど、職員と共有していくことも忘れずに、安心していただけるよう努力していきます。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、おたよりの発行をしている。	毎月の園だよりをなるべく早くホームページにアップ出来るように努力していきます。
38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人ファイルがしまっており引き出しは、退勤時に施錠をしている。また、保護者に書類を返したり、連絡帳を入力する際も一人の目だけでなく、ダブルチェックを心掛けている。	引き続き個人情報の取り扱いには十分気を付けていきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>		保護者と情報を共有する際に認識の違い等がないように大切なことは直接お会いした時が電話でお話するようにしている。	視覚提示や、書面での情報共有など、それぞれに合った情報伝達でコミュニケーションが図れるように努力していきます。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>		・直接的な関わりはないが、総合防災訓練がある際には子どもたちと一緒に作ったお手紙を近隣の方に配布している。 ・毎年公開療育を開催し、他の事業所の方に見に来ていただく機会を設けている。	現在、地域住民を招待する等の行事は行っていませんが、町内会に加入し、総会や、地域の清掃活動等に参加し地域の住民との交流をは今後も行っています。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>		毎月1回、様々な場面を想定した避難訓練を実施し、職員の動き等を確認すると共に保護者にも周知している。	マニュアル関係も保護者が閲覧できるようにしています。避難訓練等も一緒にしながら、マニュアル等も周知していき、有事にも備えています。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		毎月、避難訓練を実施する中で、避難方法や避難場所を確認する場を設けている。	今後も、避難訓練を定期的に行っていきます。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		してはいるものの、途中入園児や情報も更新されるので、その都度職員間での情報共有もしていきたい。	面談の時などを通して、しっかりと最新状況を把握することができるように、今後も連携を深めていけるように努力していきます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>		現在、たまご、魚の除去、代替食で対応を行っている。	献立の確認、座席の配置、食事介助時の混入などがないよう、複数での確認、職員同士の連携も密に行い、お子様も保護者も方も安心していただけるように、今後も対応していきたいと思います。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		ヒヤリハットの事例の共有は、朝の朝礼等を通して、周知している。	ヒヤリハットの事例をその都度確認しながら、大きな事故等につながることを未然に防いでいくことを習慣づけていき、子どもたちの安全を守っていきたいと思います。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		毎年、虐待に関する研修を実施している。近年、虐待に関するニュースを耳にする機会も増えているので、自分たちも危機感を持って向き合っていきたいと思う。	毎年、虐待研修を積み重ねながら、子どもたちの安心安全な生活を確保していきます。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			対象児がいいため、未回答。もし対応する場合には、確認をして対応をしていきたいと思う。		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)